

2008年度 第1回

## 周産期医療に関わる医療スタッフのための ステップアッププログラム開催!



今年度も、岡山大学保健学研究科では、周産期医療において実践に携わる助産師・看護師の創出を推進するため、文部科学省「再チャレンジ支援総合プログラム」による教育・支援プログラムを開催致します。

場所:岡山大学鹿田キャンパス医学部保健学科棟 時間:午後1時~6時頃まで

### 第1回 「産科超音波検査の基礎：実際に胎児を計測してみよう」

9月4日(木) 中塚幹也 (岡山大学大学院 保健学研究科 教授)  
篠畑綾子 (岡山大学大学院 保健学研究科 助教)

### 第2回 「『切迫早産・前期破水』を極める」

9月5日(金) 1. 切迫早産・前期破水の原因と管理のポイント  
多田克彦 (国立病院機構(NHO) 岡山医療センター 産婦人科医長)  
2. 当院における前期破水患者の看護  
妹尾友美 (国立病院機構(NHO) 岡山医療センター MFICU副師長)  
3. 重症切迫早産患者の管理における看護師・助産師の役割  
峠 和美 (国立病院機構(NHO) 岡山医療センター MFICU助産師)

### 第3回 「流産・死産のケア」

9月11日(木) 1. 不育症の原因と検査・治療  
中塚幹也 (岡山大学大学院 保健学研究科 教授)  
2. 不育症女性の心理  
江見弥生 (岡山県不妊専門相談センター 生殖心理カウンセラー)  
3. 死産家族へのグリーフケア  
秦久美子, 大谷友夏(岡山大学病院 産科病棟 助産師)

### 第4回 「赤ちゃんを観る」

9月18日(木) 1. 赤ちゃんのこんな症状・・・何を考える?  
住田由美 (岡山大学病院周産母子センター NICU部門長)  
2. ベビーマッサージ  
大塚元美 (岡山大学大学院保健学研究科 助教)

### 第5回 「子育ては胎児から」

9月19日(金) 1. 出産前からの継続的子育て支援(妊娠中からの虐待予防)  
正保正恵 (福山市立女子短期大学 准教授)  
2. 母子訪問看護で観察する目を養い、関係者との連携をはかる  
山野井尚美 (岡山県保健福祉部健康対策課 総括副参事)

### 第6回 「正常妊婦の落とし穴」

9月25日(木) 1. 妊娠後期に起こりやすい異常  
野口聡一 (岡山愛育クリニック 医師)  
2. 産婦管理とクリティカル・シンキング  
合田典子 (岡山大学大学院 保健学研究科 准教授)

# 研修プログラムと講師の紹介

## 9月4日（木） [胎児を観る]

### 「産科超音波検査の基礎:実際に胎児を計測してみよう」

講師：中塚幹也（岡山大学大学院 保健学研究科 教授）

〔略歴〕 1995年より岡山大学医学部・歯学部附属病院で周産期医療に携わる。2004年、岡山県不妊専門相談センター「不妊・不育とこころの相談室」の責任者に着任。性同一性障害や不妊症・不育症の治療だけでなく精神的ケアにも取り組んでいる。日本生殖医学会 生殖医療指導医。



講師：篠畑綾子（岡山大学大学院 保健学研究科 助教）

〔略歴〕 平成13年 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻修士課程 修了 保健学修士、臨床検査技師  
平成13年4月より 岡山大学医学部保健学科検査技術科学専攻 助手、岡山大学大学院保健学研究科助教（現職）

＜研修内容＞ 産科における胎児エコーの基礎知識と、基本的な機器の操作法を学びます。3D超音波検査装置を使って胎児モデルの表情を描出していただきます。また、超音波シミュレーション装置により、実際の妊婦さんの胎児を再現し、リアルタイムで胎児の各部を観察したり、計測したりする練習をしていただきます。

## 9月5日（金） [『切迫早産・前期破水』を極める]

### 「切迫早産・前期破水の原因と管理のポイント」

講師：多田克彦（国立病院機構 岡山医療センター 産婦人科医長）

〔略歴〕 医師。昭和58年岡山大学卒業。平成16年5月から現職。専門は周産期医療。

＜研修内容＞ 早産の原因の70～80%は細菌性膣症と考えられています。どのような細菌が問題となるのでしょうか？早産を予防するために外来レベルではどのようなことに注意すれば良いのでしょうか？また、感染と関係なく破水・早産に至るケースが、共通の臨床経過や胎盤病理所見を持つことが最近注目されています。実際の症例を提示して、外来レベルでの注意事項についてもお話します。

### 「当院における前期破水患者の看護」

講師：妹尾友美（国立病院機構 岡山医療センター MFICU副師長）

〔紹介〕 助産師。平成17年4月総合周産期母子医療センターへの指定にともない現職。

＜研修内容＞ 破水患者の安静度は、とすれば厳しくなりがちです。母体予後・新生児予後を悪化させることなく、少しでもストレスなく、お母さんが生活できるように考慮する必要があります。当院での取り組みを紹介します。

### 「重症切迫早産患者の管理における看護師・助産師の役割」

講師：峠和美（国立病院機構 岡山医療センター MFICU助産師）

〔紹介〕 助産師。岡山医療センター MFICU勤務。

＜研修内容＞ 妊娠26週未満の超早産児の予後は、まだ安心できるものではありません。強力な陣痛抑制が行われている患者の看護の実際と注意点についてお話します。また、超早産患者が分娩になる場合、超音波診断装置を使った分娩進行の評価が重要になります。看護スタッフが実際にどのようなことを行っているかを紹介します。

## 9月11日（木） [流産・死産のケア]

### 「不育症の原因と検査・治療」

講師：中塚幹也（岡山大学大学院 保健学研究科 教授）

＜研修内容＞ 流産・死産を繰り返す不育症の原因、検査、その治療について解説します。

### 「不育症妊婦の心理」

講師：江見弥生（岡山県不妊専門相談センター 生殖心理カウンセラー）

〔紹介〕 岡山県不妊専門相談センター「不妊・不育とこころの相談室」に2004年の開設から勤務。不妊症や不育症の医学的情報提供だけでなく、心理的サポートにも取り組んでいる。

＜研修内容＞ 流産や死産を経験した妊婦さん達の、妊娠に挑む気持ち、妊娠中の不安、出産に対する思いや不安を解説し、それを踏まえた支援を提案します。

### 「死産家族へのグリーフケアについて」

講師：秦久美子、大谷友夏（岡山大学病院 産科病棟 助産師）

〔紹介〕 不育症の入院・通院患者の多い岡山大学病院産科において、流産・死産をされた方へのグリーフケアに取り組んでいる。

＜研修内容＞ 流産・死産を体験した患者さんは、辛い想いを永く持ち続け、その後の人生にも大きな影響を受けます。その辛い想いを共に受容し、その体験を乗り越えていけるように、グリーフケア（喪の作業）を行い、早期に精神的な安定を図るための支援をしています。パンフレットや思い出の品作りなどについて紹介し、実際に作製してみます。



## 9月18日（木） [赤ちゃんを観る]

### 「赤ちゃんのこんな症状・・・何を考える？」

講師：住田由美（岡山大学病院 周産母子センター NICU部門長）

[略歴] 鹿児島大学医学部卒業。岡山大学医学部産科婦人科に属し、鹿児島市立病院、静岡県立こども病院で新生児医療を学んだ後、現在は岡山大学病院周産母子センターNICU部門長として従事。産婦人科医でありながら新生児医療に魅せられ現職に至る。

<研修内容> 赤ちゃんは、言葉で訴えませんが、いろいろなサイン送っています。それを読み取れますか？赤ちゃんの種々の症状から予測される状態とそのケアについて解説します。



### 「ベビーマッサージ」

講師：大塚元美（岡山大学大学院 保健学研究科 助教）

[紹介] 現在、岡山大学医学部保健学科で助産師教育に従事。

<研修内容> ベビーマッサージは母(父)と子のスキンシップの方法の一つであり、赤ちゃんの心や体の発育を促します。マッサージを通して、赤ちゃんの喜ぶ触れ方を見つけたり、赤ちゃんの様子や変化に気づいたりすることで、育児に対する自信とゆとりを持つことにつながります。また、親子ともにリラックス効果が得られるなど、子育てにはポジティブな影響があります。ベビーマッサージの実際について説明し、ベビーマッサージを始める方への指導法などを演習していただきます。

## 9月19日（金） [子育ては胎児から]

### 「出産前からの継続的子育て支援」

講師：正保正恵（福山市立女子短期大学 准教授）

[略歴] 岡山大学大学院教育学研究科を修了し、現在、福山市立女子短期大学に勤務。2006年にカナダの「Nobody's Perfect Program」ファシリテーター資格を取得。専門は家政教育学、ジェンダー論

<研修内容> 家族構造や地域環境の変化のために、身近で育児についてのサポートが得られない親たちが、育児不安や虐待(不安)やネグレクト(育児放棄)に陥っています。虐待予防先進国であるカナダの「Nobody's Perfect Program」の一部を実際にロールプレイで体験していただきながら、アメリカ・HFA認可の出産前からの子育て支援「ヘルシー・スタート・サービス」、北欧の子育て支援、ふくやま子育て応援センターへの相談事例のカテゴリー化などについて解説します。



### 「母子訪問看護で観察する目を養い、関係者との連携をはかる」

講師：山野井尚美（岡山県保健福祉部 健康対策課 総括副参事）

[略歴] 岡山県公衆衛生看護学校 卒業後、岡山県職員(保健師)として採用。

以来、岡山保健所、東備保健所、勝央保健所(現在は統廃合)、岡山県精神科医療センター(旧岡山県立病院)、県庁長寿社会対策課、保健福祉課等勤務後、平成19年4月から現職。

<研修内容> 行政(市町村・保健所)が行っている母子保健サービスの内容と方法、また、現在の新たな情報がお伝えできたらと考えています。母子訪問看護の現場で、それぞれのお母さんを観る視点も解説します。

## 9月25日（木） [正常妊婦の落とし穴]

### 「妊娠後期に起こりやすい異常」

講師：野口聡一（岡山愛育クリニック 医師）

[略歴] 1999年より岡山大学病院産科婦人科で主に不妊・不育症診療に従事。2005年より岡山大学病院産科病棟医長。2008年4月より岡山愛育クリニックに勤務。

<研修内容> 妊娠経過が順調と思われていても、妊娠後期になれば母体の異常や胎児の異常により、緊急の医療介入が必要となることがあります。妊娠後期に認められる母児の異常の早期発見、および、その後の治療法について解説します。



### 「産婦管理とクリティカル・シンキング」

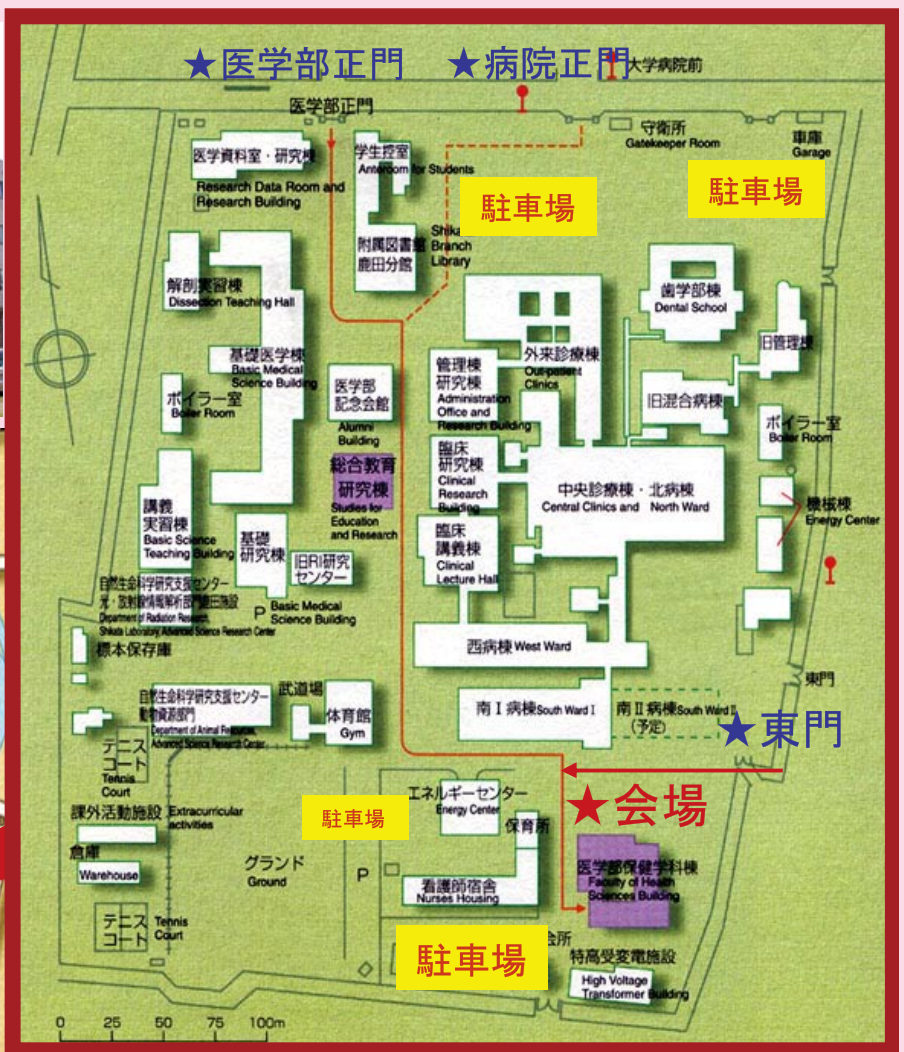
講師：合田典子（岡山大学大学院 保健学研究科 准教授）

[紹介] 岡山大学医学部附属助産婦学校 教務主任、岡山大学医療技術短期大学部専攻科 助産学特別専攻主任を経て、現職

<研修内容> 産婦をより安全・安楽に管理するための方法について共に考えます。



# 岡山大学医学部保健学科(会場)までのアクセス



## <岡山駅からのバス経路>

駅東口のバス停 5・6番乗り場

↓  
岡電バス 市役所経由労災病院行き 又は 東山行き

↓  
約10分 大学病院前下車

## <お車でお越しの方へ>

会場近くに駐車場がございますので、医学部正門か東門からお入り下さい。

受講申し込み・問い合わせ (メールかFaxでのお申し込みをお勧めします。)

**E-mail: josan@cc.okayama-u.ac.jp**

**FAX: 086-235-7045** (岡山大学大学院 保健学研究科 教務第2係)

**TEL: 086-223-7151** (岡山大学鹿田キャンパス代表)

内線 6447 (再チャレンジ支援総合プログラム事務局)

(必ず、ご本人に直接、連絡できる個人の連絡先をお知らせ下さい。)

助産ネット ホームページ: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/index>

〒700-8558 岡山市鹿田町2-5-1

岡山大学大学院保健学研究科 再チャレンジ支援総合プログラム事務局  
担当 貝原加寿子, 原田靖子 代表 中塚幹也

★産科医療スタッフ、母子保健スタッフの募集を希望される施設の皆様、当事務局までお知らせ下さい。  
助産ネットホームページ上で、スタッフ募集の案内を掲載できます。(掲載料は無料です。)